

# ちば県議会だより

会派別議員数		
会派名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	53人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	10人
千葉民主の会	千葉民	9人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
千翔会	千翔会	2人
平和の党	平和党	1人
社民党	社民党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
北総ダッシュの会	北総ダ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	4人

定数94人 現員94人 (令和2年3月13日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索



## 千葉県議会 児童・生徒表彰

学芸およびスポーツの国際大会または全国大会で、最優秀の成績を収めた児童・生徒89名、31団体が表彰されました。(受賞者一覧を3面に掲載)



表彰された児童・生徒

## 新型コロナウイルス感染症に関する議長メッセージ

県民の皆さまや県内事業者の方々には、長期にわたり、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」にご協力をいただきありがとうございます。

さらなる感染拡大を防止し、この困難に打ち勝つためには、皆さま一人一人の行動が大切です。不要不急の外出や、「密閉」「密集」「密接」の3つの「密」を避け、手洗い、うがい、咳エチケットを徹底してください。

我々県議会も4月の緊急事態宣言を受け、4月30日に臨時県議会を開催し、医療体制を強化し医療現場の崩壊を防ぐ目的で、臨時の医療施設を迅速かつ円滑に開設するための条例を議員発議で制定しました。また、中小企業等への支援金や生活福祉資金、軽症者用のホテル借上費などの補正予算を可決・承認しました。

今後も県当局と一体となり、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と県内経済の立て直しを目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。

皆さまには、感染防止対策に一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

千葉県議会議長 阿井 伸也

## 2月定例会議会のあらまし

2月定例会議会は、2月13日に招集され、3月13日までの30日間にわたり開催されました。開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和2年度一般会計予算等の議案95件、報告2件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

2月19日の質問初日には、「**新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書**」が上程され、可決されました。2月19日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、24名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

さらに、3月2日から3日間にわたり、予算委員会が開催されました。各常任委員会は、3月5日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決・承認されました。その後、追加上程された人事案件1件が同意され、続いて、議員発議案16件のうち3件(意見書2件、決議1件)を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

### 可決・承認・同意された議案

- ◆ 令和2年度予算関係(24件)
  - ▽ 一般会計
  - ▽ 特別会計(23件)
  - ◆ 令和元年度補正予算関係(24件)
    - ▽ 一般会計
    - ▽ 特別会計(23件)
- ◆ 条例の制定
  - ▽ 知事等に対する損害賠償責任の一部免責に関する条例
  - ◆ 条例の一部改正(24件)
    - ▽ 千葉県職員定数条例
    - ▽ 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
    - ▽ 使用料及び手数料条例

- ▽ 千葉県恩給条例
- ▽ 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例
- ▽ 千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例
- ▽ 幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽ 千葉県保健師等修学資金貸付条例
- ▽ 千葉県理学療法士等修学資金貸付条例
- ▽ 千葉県医師修学資金貸付条例
- ▽ 千葉県薬物の濫用の防止に関する条例
- ▽ 食品衛生法施行条例
- ▽ 千葉県動物の愛護及び管理に関する条例
- ▽ 千葉県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例
- ▽ 千葉県地域環境保全基金条例
- ▽ 千葉県特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例

- ▽ 千葉県青少年健全育成条例
- ▽ 特定非営利活動促進法施行条例
- ▽ 印旛沼土地改良施設管理条例
- ▽ 千葉県漁港管理条例
- ▽ 千葉県学校職員定数条例
- ▽ 千葉県警察基本条例
- ▽ 公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例
- ◆ その他(23件)
  - ▽ 契約の締結
  - ▽ 契約の変更(2件)
  - ▽ 財産の取得
  - ▽ 権利の放棄(7件)
  - ▽ 千葉県と市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議(6件)
  - ▽ 市町村が負担すべき金額(2件)

### 可決された意見書・決議

- ▽ 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書
- ▽ 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
- ▽ CSF予防的ワクチン接種に係る制度の見直しを求める意見書
- ▽ 令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風及び令和元年10月25日の豪雨により県内で発生した土砂崩れに対し、復旧・安全対策を支援する制度の創設を求める決議

## 2月20日(木)



公明党  
あきばやし たかし 議員  
秋林 貴史 (松戸市)

- ◆ 新型コロナウイルス対策
- ◆ 災害対策
- ◆ 県民生活の安全確保
- ◆ 教育環境の整備
- ◆ 介護施設等の管理運営
- ◆ 障がい者支援



千葉民  
あまの ゆきお 議員  
天野 行雄 (千葉市稲毛区)

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の対策
- ◆ ICT活用戦略と第4次産業革命
- ◆ 土砂災害対策
- ◆ 大規模停電防止のための予防伐採
- ◆ 子どもの貧困対策
- ◆ 児童虐待防止

## 2月19日(水)



立憲民  
あみなか はじめ 議員  
網中 肇 (千葉市中央区)

- ◆ 新型コロナウイルス対策の強化
- ◆ 台風等での被災住宅支援の促進
- ◆ 保育所・学童クラブの待機解消
- ◆ 児童虐待対応体制の充実・強化
- ◆ 教員の負担軽減と人材確保支援
- ◆ バス路線維持と運転手確保支援



自民党  
きした けいじ 議員  
木下 敬二 (鴨川市・南房総市・安房郡)

- ◆ 新型コロナウイルス対策
- ◆ 被災農業施設の再建等と一部損壊の住宅の修理に対する支援
- ◆ 私学助成
- ◆ 児童虐待防止対策
- ◆ 有害鳥獣対策
- ◆ CSF対策

## 代表質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

# 代表質問から

## 新型コロナウイルス対策

**問** 県内での広がりが懸念される中で、どのように医療体制を確保しているのか。

**答** 県では、2月7日に、感染が疑われる人の外来診療体制として「帰国者・接触者外来」を整備するとともに、感染が疑われる帰国者や被接触者の相談に対応するため「帰国者・接触者相談支援センター」を設置した。

今後の県内の患者の増加に備え、感染症の専門家の意見を聞きながら、患者の症状に応じた入院病床の確保や重症化に伴う転院など、医療機関の連携体制の構築に努めている。

また、医師の知見や対応能力を高めるため、県医師会と共催で医師向けの研修会を開催しているが、今後、さらに感染症専門家による協議会を開催し、県内の医療体制の強化を図っていく。

## 私学助成

**問** 新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見が生じることのないよう、児童・生徒の解消に向けた支援に努めていく。

**答** 県では、2月7日に、感染が疑われる人の外来診療体制として「帰国者・接触者外来」を整備するとともに、感染が疑われる帰国者や被接触者の相談に対応するため「帰国者・接触者相談支援センター」を設置した。

今後の県内の患者の増加に備え、感染症の専門家の意見を聞きながら、患者の症状に応じた入院病床の確保や重症化に伴う転院など、医療機関の連携体制の構築に努めている。

また、医師の知見や対応能力を高めるため、県医師会と共催で医師向けの研修会を開催しているが、今後、さらに感染症専門家による協議会を開催し、県内の医療体制の強化を図っていく。

2月4日に勝浦市に、それぞれ県教育庁指導主事とスクールカウンセラー、スーパーバイザーを派遣し、児童・生徒へのきめ細かな見守り体制の構築を支援した。

今後、新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見が生じることのないよう、児童・生徒を継続的に指導するとともに、不安の解消に向けた支援に努めていく。

**問** 県の授業料減免制度について、保護者負担の軽減に向け、どのように制度を見直すのか。

**答** 子どもたちが家庭の経済状況にかかわらず、行きたい高校で安心して教育を受けられるようにすることは、大変重要であると考えている。このため、県では、保護者の負担軽減を図るため、国の就学支援金に上乗せして、所得に応じた授業料減免補助を行ってきた。

令和2年度から、国は就学支援金の実質無償化の対象者を590万円未満としたが、県では、授業料減免制度をさらに拡充し、年収640万円未満の世帯まで授業料を全額無償化することとした。また、640万円以上750万円未満の世帯については、新たに授業料の3分の2相当額の減免補助を行う。

県としては、これらの制度拡充を通じて、未来を担う子どもたちが、安心して学べる環境づくりを進めていく。

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

また、戦略を計画的に推進するため、約60件の数値目標案を取りまとめ、今年7月に有識者等からなる千葉県ICTアドバイザー会議を開催した。

会議では、サイトのアクセス数増加といった数値目標だけでなく、提供するサービスの利便性向上にも併せて取り組む必要があるなどさまざまな提案・意見をもらった。

今後、市町村や企業等からも意見を聞きながら、年度内を目途に数値目標を定め、戦略の適切な進捗管理を図っていく。

令和2年度に、児童相談所職員を110名程度増員する。

中央・市川・柏児童相談所においては、保健師など多職種を配置した「支援課」を新設することにより、ケースマネジメントを強化する。

中央児童相談所に「人材育成研修課」を新設し、研修の高度化を図り、職員一人一人の能力向上を計画的に進める。

また、児童家庭課に男女共同

参画課からDV対策業務を移管し、児童虐待部門とDV対策部門の連携強化を図る。

さらに、こうした取り組みが確実に図られるよう、児童相談所業務について第三者による監査体制を整備する。これらの児童相談所の体制強化を通じ、児童虐待防止対策に全力で取り組んでいく。

また、戦略を計画的に推進するため、約60件の数値目標案を取りまとめ、今年7月に有識者等からなる千葉県ICTアドバイザー会議を開催した。

会議では、サイトのアクセス数増加といった数値目標だけでなく、提供するサービスの利便性向上にも併せて取り組む必要があるなどさまざまな提案・意見をもらった。

今後、市町村や企業等からも意見を聞きながら、年度内を目途に数値目標を定め、戦略の適切な進捗管理を図っていく。

令和2年度に、児童相談所職員を110名程度増員する。

中央・市川・柏児童相談所においては、保健師など多職種を配置した「支援課」を新設することにより、ケースマネジメントを強化する。

方策や支援策を検討するため、平成30年6月、市町村と共に、「有害鳥獣捕獲個体の処理に係る検討会」を設置した。

検討会では、捕獲従事者にとつて負担となつている、捕獲個体の埋設や解体作業を行わずに、個体をそのまま処理できる専用施設や、処理前に一時的に冷蔵・冷凍保管する設備を整備する必要があるとの意見が多く出された。

このため、来年度は、市町村が国の交付金を活用して、有害鳥獣専用処理施設を整備する場合に、新たに県が上乗せして助成を行う他、交付金の対象とならない一時保管設備のみの整備費についても、県単独で助成を行うこととし、必要な経費を当初予算案に計上した。

県としては、この助成制度の活用などにより、有害鳥獣捕獲個体の円滑な処理が進むよう、市町村を支援していく。

現在策定中の「千葉県子ども・子育て支援プラン2020」において、令和3年4月に待機児童を解消するとともに、それ以降も、待機児童ゼロを維持していくことを目指している。

県としても、施設整備に係る県独自の乗せ補助や、保育士の確保・ソフットの両面から、引き続き市町村を支援し、待機児童の解消に向け、連携して取り組んでいく。

また、児童家庭課に男女共同

予算の繰り越しを行うこととした。引き続き、市町村等と連携しながら、被災者の一日も早い経営再建や生活再建に向けてしっかりと取り組んでいく。

また、通学路上や横断歩行者の多い交差点については、自動車の交通量や交差点の規模等も総合的に勘案の上、横断歩行者と自動車の信号表示を分離する歩車分離式信号の整備を進めており、これまでに右直車両分離方式を含め312カ所を整備している。

ゾーン30や歩車分離式信号は、歩行者や自転車等が被害に遭う交通事故の抑止に有効と考えられることから、県警では、交通事故実態や県民の要望等を踏まえつつ、道路管理者等と連携しながら、必要な箇所について、今後とも、これらの整備を進めていく。

また、未就学児等の事故防止を図るため、政府において創設することとされたキッズゾーンについては、今後、市町村において設定に向けた動きが進むものと思うが、県警としても関係機関や道路管理者等と連携し、必要に応じてゾーン30に指定するなど、安全確保対策に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

これらの対策や移動式オービスを活用した生活道路等での速度取り締まりを含め、県警としては、歩行者や自転車等が被害に遭う重大事故を抑止するため、全力を尽くしていく。

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。

さらに、2月3日に鴨川市に、

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。



整備されたゾーン30

## ICT活用戦略

来年度のICT活用に係る

## 児童虐待防止対策

児童相談所の体制強化について、今後どう取り組むのか。

県では、女児死亡事例の検証報告を受け、児童相談所の業務執行体制の強化のため、職員を増員する他、組織改正を行う。

具体的には、令和2年度に、児童相談所職員を110名程度増員する。

中央・市川・柏児童相談所においては、保健師など多職種を配置した「支援課」を新設することにより、ケースマネジメントを強化する。

また、児童家庭課に男女共同

## 子育て支援策



県は、新プランである「千葉県子ども・子育て支援プラン2020」において、待機児童解消の時期をどのように考えているのか。また、解消に向け、どのように対応していくのか。

現在策定中の「千葉県子ども・子育て支援プラン2020」において、令和3年4月に待機児童を解消するとともに、それ以降も、待機児童ゼロを維持していくことを目指している。

県としても、施設整備に係る県独自の乗せ補助や、保育士の確保・ソフットの両面から、引き続き市町村を支援し、待機児童の解消に向け、連携して取り組んでいく。

また、児童家庭課に男女共同

## 災害からの復旧・復興

被災農業施設の再建等や一部損壊の住宅の修理に対する支援の実施状況はどうか。

県は、被災件数が見込みを上回ったことや各市町村からの追加要望を踏まえ、2月補正予算案において、被災農業施設の再建等に対する助成で30億6900万円、一部損壊の住宅の修理に対する助成で8億円を増額することとした。これにより、12月補正予算と合わせた総額は、それぞれ269億9500万円、40億円となる。

しかし、被災件数が膨大であり、施工する専門業者も限られていることなどから、全ての被災者の再建が終了するまでには、まだ時間がかかる見込みである。このため、工事完了が次年度以降となる被災者なども事業の対象となるよう、

## CSF対策

本県におけるCSFワクチン接種をどのように進めていくのか。

県では、県内399カ所の養豚場等で飼育される豚のうち、出荷を控えた豚などを除く、約61万頭分についてのワクチン接種を、今月17日から開始した。接種は、埼玉県や茨城県と接する地域から、順次、南部地域にかけて、県や民間の獣医師約310名により、6月末を目途に、全ての農場への第1回目の作業を終わらせることとしている。

また、第1回目の接種実施後に生まれる豚に対しても接種を行うが、養豚農家等の負担も考慮し、第1回目の約61万頭分のみ、接種手数料を全額免除することとした。

なお、接種の効果が表れないケースも見られることから、接種後も油断することなく、飼養衛生管理基準を遵守するよう、県では、引き続き、農家に対し指導していく。

## 県民生活の安全確保

歩行者や自転車等が被害者となる交通事故を防止するため、ゾーン30や歩車分離式信号の導入を一層推進するとともに、関係機関が一丸となってキッズゾーン内の安全対策を推進するべきと考えられているか。

ゾーン30については、地域の意見・要望等も踏まえながら、住宅街等の生活道路における抜け道利用や走行速度の抑制等が必

また、2月1日付で、啓発リーフレットを各学校に配布し、相手の立場になり、思いやりをもって行動するよう児童・生徒一人一人に働き掛けをした。



整備されたゾーン30



総務防災常任委員会

問 昨年の台風等の災害により、大規模な停電や断水などによる被害があったことから、地域防災力向上総合支援補助金が、市町村において有効に活用されるよう、県はどのように取り組んでいくのか。

答 県では、市町村での要配慮者世帯への戸別受信機の配付等を促進するため、ヒアリングなどにより、把握した市町村の課題について、補助金の活用方法を示すなど、その取り組みを積極的に支援していく。

総合企画企業常任委員会

問 県営水道の浄・給水場等における令和2年度の停電・浸水対策はどのようなものか。

答 停電・浸水対策のさらなる強化を図るため、非常用自家発電設備の増強等を前倒しして実施するとともに、浸水の恐れがある施設は、土のう袋や防水扉等を設置する。

健康福祉常任委員会

問 「千葉県子ども・子育て支援プラン2020」における目標と取り組みはどうか。

答 保育所等の待機児童の解消を令和3年4月とし、それ以降も、待機児童ゼロの維持を目指している。また、「子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合」を80%以上に維持することを目標とし、庁内関係課および市町村と連携の上、さまざまな取り組みを行っていく。

環境生活警察常任委員会

問 昨年の飲酒運転による交通事故の発生状況はどうか。

答 昨年の飲酒運転による交通事故は13件で、全国ワーストであった。取り締まりの強化や条例制定に向けての検討など、関係部局と連携して飲酒運転の根絶に向けて取り組んでいく。

商工労働常任委員会

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県経済に大きな影響が出ているが、県として、観光面を含めどのように対応していくのか。

答 中小・小規模事業者の人々に対し、県として、寄り添った対策が必要である。観光への対策としては、観光需要の回復に向け効果的な支援を検討している。また、国が検討している経済対策について情報収集し、県としても、速やかに対応が図られるよう準備をしている。

農林水産常任委員会

問 米の新品種「粒すけ」のPR事業をどのように展開していくのか。

答 臨時休業中であっても、保護者の受け入れの態勢が整うまで、児童・生徒を学校で受け入れ、必要に応じてスクールバスを運行することとしている。

文教常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症対策で臨時休業とした特別支援学校の児童・生徒の受け入れについて、どのように対応するのか。

答 臨時休業中であっても、保護者の受け入れの態勢が整うまで、児童・生徒を学校で受け入れ、必要に応じてスクールバスを運行することとしている。

県土整備常任委員会

問 一宮川流域浸水対策特別緊急事業における河川激甚災害対策特別緊急事業の位置付けと、今後どのような考えで事業全体を進めていくのか。

答 河道断面の拡大を実施する一宮川の中流域で、国の補助制度である河川激甚災害対策特別緊急事業の採択を受けており、財源を確保の上、令和6年度の完成に向け、集中的に事業を進めていく。また、上下流域や支川などで実施する対策は、地元との合意形成を図った上で、河川計画の策定や見直しを行うとともに、計画に位置付けた対策について、一日も早い事業着手を目指す。

問 県内ファミリー層を主なターゲットとして、デビューイベントやレストラン等でのキャンペーン、インターネットを活用したPRなどを実施していく。

令和2年6月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

Table with columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議時間. Rows include dates from 6/10 to 7/11 with details on sessions and committees.

※3月13日時点の素案であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV...テレビでの生放送を予定しております。 PC...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

令和元年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(学芸部門)

Table listing award winners in the Academic and Arts Department for the fiscal year 2019. Columns include School/Organization Name, Name, and Remarks.

令和元年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(スポーツ部門)

Table listing award winners in the Sports Department for the fiscal year 2019. Columns include School/Organization Name, Name, and Remarks.

※3月18日に新たに5個人、2団体が表彰されました。

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

2月21日(金)



自民党 宮川 太 議員 (銚子市・香取郡東庄町)

東京オリンピック・パラリンピック 利根かもめ大橋の通行料金 農業支援 境界確定



公明党 鈴木 和宏 議員 (市原市)

防災対策 県営住宅の空き家対策 医療問題 チバニアン



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

台風災害の復興と今後の備え インフラ整備 県立館山総合高等学校水産校舎の利用



千葉民 平田 悦子 議員 (君津市)

チーパスの活用 教職員の働き方改革の取り組み 君津環境整備センター最終処分場 カラー新品種



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

湾岸地域における規格の高い新たな道路ネットワーク 成果運動型民間委託契約 千葉県高齢者保健福祉計画 質の高い教育を受けられる環境の整備

2月25日(火)



自民党 信田 光保 議員 (銚子市・香取郡東庄町)

洋上風力発電 水産業振興 観光振興 道路問題



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

新型コロナウイルス フェーズフリー オリジナルレガシー 子宮頸がんワクチン



自民党 秋本 享志 議員 (白井市)

道路問題 印西警察署白井分庁舎 千葉特産の梨



共産党 加藤 英雄 議員 (柏市)

陸上自衛隊オスプレイの木更津市への暫定配備 2020年度予算案 河川洪水対策 県立柏特別支援学校



無所属 市原 淳 議員 (茂原市)

医療問題 道路問題 河川改修 県立中高一貫校

2月26日(水)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

行政改革の目的と県民サービス 君津中央大佐和分院存続を要望 富津館山道路の4車線化促進 市街化調整区域開発基準見直し



自民党 宮坂 奈緒 議員 (浦安市)

肢体不自由の方への支援体制 道路問題 教育の機会提供 交番



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

施設園芸農業の強靱化 主要農作物の種子の生産・供給 河川の浸水想定 道路問題



無所属 川井 友則 議員 (松戸市)

知事のトップセールス 職員の不祥事 交通死亡事故件数 坂川周辺の環境整備



自民党 小野崎 正喜 議員 (山武市・山武郡)

湛水防除事業 ジャンボタニシ対策 県立青少年教育施設 成田空港

2月27日(木)



立憲民 松崎 太洋 議員 (柏市)

災害対応型自動販売機の設置 里親制度 さわかちば県民プラザ 交通安全



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

国民健康保険 動物愛護 華為社の船橋市内進出と補助金 教育委員会の西暦使用の理由



社民党 小宮 清子 議員 (流山市)

東海第二原発の再稼働はさせない 子ども・母子家庭の貧困対策 介護人材の確保 高齢者福祉



北総ダ 岩波 初美 議員 (鎌ヶ谷市)

北総鉄道値下げと北総地域の土地活用 児童相談所における運営改革 災害時におけるプロボノ受け入れ体制

2月定例県議会 知事あいさつ

今回提案いたしました案件は、令和2年度の当初予算案、令和元年度の補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の95議案の他、報告2件です。

令和2年度当初予算案

令和2年度当初予算案は、「次世代への飛躍 輝け!ちば元気プラン」の総仕上げとして、これまでの取り組みの成果を次世代へとつなげ、さらに発展させていくための予算として、編成しました。

具体的には、

- 激甚化する災害に備える防災・減災対策や防犯対策の充実などのくらしの安全・安心の確立
障害者やひとり親家庭への医療費助成の充実、私立高校の授業料負担の軽減などの子ども・子育て世代への支援や福祉・医療の充実

をはじめ、各分野にわたり「くらし満足度日本一」の実現に向けた事業に重点的に配分しています。

また、国の補正予算を活用し、元年度2月補正予算と一体の切れ目のない予算として、特に台風等災害からの復旧・復興を加速化していきます。

さらに、東京オリンピック・パラリンピックを円滑に開催するために必要な予算を計上しています。



この結果、一般会計の当初予算規模は、1兆8,194億8,529万9千円、前年度と比べ3.3%の増となっています。

なお、2月補正予算では、災害からの復旧・復興や防災・減災対策などの経費として、183億673万円を計上しており、当初予算と合わせて事業を実施してまいります。

その他、主な事業として、「くらしの安全・安心の確立」、「子ども・子育て世代への支援の充実」などの概要説明がありました。

さらに、令和元年度2月補正予算案、提案された主な議案の概要についての説明の後、新型コロナウイルス感染症への対応についてなど、当面する諸問題について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

予算委員会が開催されました



3月2日(月)～4日(水)の3日間をわたり予算委員会が開催されました。本委員会では、令和2年度予算議案について、横断的・多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。



自民党 宇野 裕 議員 (匝瑳市)

高速道路インターチェンジ周辺等の産業の受け皿づくり 個人情報保護条例 子育てのすばらしさ

地域トピックス 香取・東総ゾーン

銚子市沖の洋上風力発電に係る協議会の状況と今後の見通しはどうか。

1月31日に開催された第2回協議会では、構成員による意見交換が行われ、発電事業の実施に際しての要望等が出された。

具体的には、操業状況等に合わせた漁業共生策の実施、メンテナンス時における名洗港の活用、風車を活用した新たな観光振興への協力を望む声などがあつた。また、こうした声を十分に理解してもらうため、公募に当たっては、発電事業者を対象とした説明の機会が



千葉県銚子市沖の洋上風力発電 [出典:新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)]

必要との意見も出された。今後は、事業に当たった留意事項等を盛り込んだ「協議会意見」を取りまとめ、これを踏まえ、国が促進区域を指定し、発電事業者の公募を行うこととなる。

※千葉県銚子市沖における協議会構成員は、国、県、関係市、当該区域に係る漁業関係者、学識経験者等